

# しまねの河川と海岸だより

平成31年3月号

発行：島根県土木部河川課

## 〔目次〕

- |                                    |     |        |
|------------------------------------|-----|--------|
| ◆ 平成30年度 第2回『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会を開催！！ | 河川課 | 企画調査 G |
| ◆ 水防情報システムが新しくなりました                | 河川課 | 防災 G   |
| ◆ 第1回江の川水系八戸川流域川づくり検討委員会を開催        | 河川課 | 企画調査 G |
| ◆ 萩・石見空港を利用してオリジナルダムカードをゲットしよう！    | 河川課 | 河川開発室  |
| ◆ 第41回 島根県中学生「水の作文コンクール」作品募集します！   | 河川課 | 管理 G   |
| ◆ しまねの河川と海岸～自転車 de ぶらり～vol.6（お散歩編） | 河川課 | 番外編    |



## 平成30年度 第2回『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会を開催！！

河川課 企画調査グループ

平成31年3月8日に第2回『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会を開催しました。今回の協議会は、これまで取り組んできた緊急対策外来種ミシシippアカミミガメ（以下アカミミガメとする）の捕獲等の活動の成果報告が主な内容です。



### （1）これまでの活動による成果及び来年度の活動予定

#### ○生き物調査

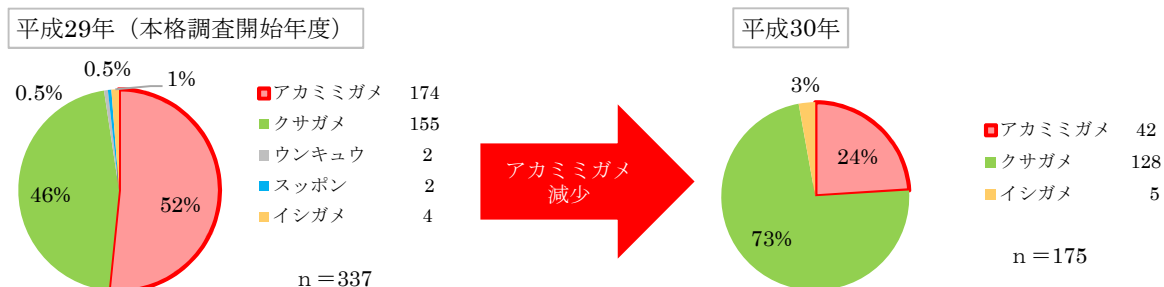
##### <調査項目>

- ① 松江堀川の生き物調査、水質調査（6月に1回）
- ② 城山内堀川での捕獲調査
- ③ カメ類の食性調査
- ④ カメ類の移動範囲特定調査
- ⑤ カメ類の産卵巣を荒らす生き物の特定調査

##### <調査結果まとめ>

- ・ 松江堀川全体で見ると外来種を含め、生息している生き物に目立った変化はない
- ・ 城山内堀川のアカミミガメは、ワナによる捕獲数、捕獲割合が大幅に減少  
H29年度：174 個体（捕獲割合 52%） → H30年度：42 個体（捕獲割合 24%）
- ・ 城山内堀川では昨年度と比較して、小型個体のアカミミガメの捕獲が増加
- ・ クサガメとアカミミガメは食物が競合している
- ・ クサガメは同一河川にとどまらず、河川間を移動している
- ・ 城山内堀川にはカメ類の産卵巣を荒らす生き物がいる
- ・ H29年の本格的な調査開始前と比較すると、城山内堀川で水面を泳ぐアカミミガメが減少
- ・ アカミミガメのみが甲羅干ししていた場所で、クサガメが甲羅干しをする姿が見られるようになった

#### <城山内堀川のカメ類捕獲数・捕獲割合の推移>



※クサガメ、イシガメについてはリリースしたものもあるため、再捕分も含んだ数となっています。



#### <甲羅干しの状況変化>



## 成果

城山内堀川での調査の成果は以下のとおり

- ・ ホシザキグリーン財団の環境修復事業もあわせると、平成 29 年度からの 2 年間で 313 個体のアカミミガメを捕獲することが出来た。
- ・ アカミミガメについて、総生息数は把握できていないが、ワナでの捕獲により生息数が減少しており、一定の成果が得られた。
- ・ 産卵可能な大型個体のアカミミガメの個体数が減少傾向であることに加え、今後産卵可能となる小型個体も捕獲出来たことから、来年度以降数年間の生産を抑制することが出来た。
- ・ アカミミガメの減少により、クサガメやイシガメが生息しやすい環境になった。

## <課題>

- ・ 松江堀川全体（城山内堀川以外）ではアカミミガメが多く生息していると思われる。
- ・ 移動調査結果から、アカミミガメも他河川から城山内堀川に移動してくる可能性がある。
- ・ 城山内堀川ではクサガメ及びイシガメも産卵巣を荒らされている可能性がある。

## 来年度の活動

### ①松江堀川の生き物調査、水質調査（平成 31 年 6 月頃）【継続】

松江堀川全体の環境の変化を把握するため実施する。

### ②城山内堀川での捕獲調査（平成 31 年 5 月～11 月）【縮小】

アカミミガメの減少を確認出来たため、頻度を減らして環境の変化を確認する。

※カメ類の食性調査、移動範囲特定調査、産卵巣をあらす生き物の特定調査は今年度で終了

## ○啓発活動

## 成果

- ・ イベント後のアンケートでは外来種がいないほうが良いとする意見が多く、啓発活動による効果があったと考えられる。
- ・ 平成 27 年から計 300 人以上の方に啓発活動を行うことが出来た。

## <課題>

- ・ イベントによる啓発活動では、元々興味のある人のみにしか啓発活動を行うことが出来ない可能性がある。
- ・ 近年は、河川内に入り、川と親しむ機会が少ないため、外来種に対する意識向上のためにも実際に体験しながら学べる場の提供を継続することが必要と感じた。

## 来年度の活動予定

### ①一般参加の松江堀川調査【新規】

小中学生を対象とした一般参加の生き物調査、水質調査を実施する。あわせて松江堀川の汽水環境や宍道湖からの導水に関する学習会も実施する。

### ②各種イベント参加【継続】

今年度参加した松江市環境フェスティバル等、各種イベントに参加し、啓発活動を行う。

### ③啓発看板の設置【新規】

松江堀川の生き物紹介及び汽水環境及び宍道湖からの導水に関する説明看板を設置する。

## (2) その他

### ○ホシザキグリーン財団の環境修復事業について

ホシザキグリーン財団より松江堀川での環境修復事業について、今年度の活動結果及び来年度の活動予定について説明。

### ○水草、藻の繁茂に対する調査、検討について

昨年度の水草、藻の繁茂を受けて、松江堀川の透明度及び塩分濃度調査を実施した。

#### ＜調査結果まとめ＞

##### 【透明度】

平成 30 年度は例年と比較すると処分量が多かったが、これは平成 29 年度に繁茂した水草・藻の残りによるものと考えられる。

また平成 29 年度と比較して平成 30 年度の水草・藻の総処分量が少なかったが、その原因は、

①降雨量が多く、日照時間が少ないので、透明度が低かったこと

②6 月上旬の早い時期に根元から多量の水草・藻を処分したこと

の 2 点が推察される。

##### (今後の対応)

来年度も同様に透明度調査を行い、透明度と水草・藻の発生量の関係及び透明度と降雨量・日照時間の関係を調べる。(調査は今年度出来なかった 4 月下旬から開始する。)

##### 【塩分濃度】

松江堀川には東側(北田川水門、京橋川水門)に常設の塩分濃度計が有るが、中央部及び西側のデータが不足しているため、調査を行い、松江堀川全体の状況を把握する。

大橋川観測所の塩分濃度が高くても、松江堀川西側の塩分濃度が極端な推移を見せておらず、必要以上の高濃度になっていないことが確認できた。



また調査回数が少ないものの、今回の松江堀川西側の観測値全てが東側にある北田川水門及び京橋川水門の常時計測の塩分濃度計の値より低くなっていたため、この 2 つの常時計測の塩分濃度計の値を最大値として目安に出来る可能性がある。

#### 協議会での主な意見及び回答

○日本固有種であるニホンイシガメを城山内堀川で増やすために何かできないか

⇒城山内堀川のイシガメは老体が多く、繁殖力が弱くことに加え、環境変化への適応力も低い等の理由から城山内堀川のみで考えると増やすことは難しい。ただし、緩傾斜の土堤や木陰、草による隠れ場もあり、生息環境としては整っている中川ではイシガメを複数個体確認しているので、中川から城山内堀川へ移動してくることでイシガメが増えてくるといった可能性はある。

○田町川のようなコンクリート張の環境でアカミミガメが多い理由は

⇒原因は明らかではないが、アカミミガメは一般的に生息環境が悪い場所に多く生息している。コンクリート張やブロック積だと在来のカメにとっては生息しにくい環境となり、アカミミガメが増えやすいので、在来のカメ類に配慮し、中川のような河川整備が行われると良い。

調査結果の詳細はHPに掲載しています

⇒ <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/link/>



# 水防情報システムが新しくなりました

河川課 防災グループ

島根県では県内河川の水位などのデータを収集し、情報発信する島根県水防情報システムを平成10年から運用しています。これまで平成21年に一度更新を行い、この度10年振りにシステムの更新を行いました。

新しいシステムは平成31年3月8日（金）より運用を開始し、スマートフォン用のサイトを追加するなど、集中豪雨等が発生した際に、県内の河川状況を今までよりわかりやすく確認できるようになりました。

新しくなった水防情報のHPを一度ご覧下さい。

## ■主な改善点

### ①スマートフォン用サイト追加

#### スマートフォン画面の特徴

- ・スマートフォンの画面サイズに適した画面構成で情報を提供
- ・地図の拡大・縮小が可能  
⇒見たい場所をすぐに見られる
- ・GPS機能で自分の場所を表示できる  
⇒周辺の危険な箇所を確認できる



水位状況表



河川監視カメラ情報

### ②画面構成の改善

#### 利用しやすく、見やすい画面構成

- ・地図や表などを用い、危険度状況に応じてアイコン等を着色することで視覚的に危険状況が確認できる
- ・上と横にタブを設けて、見たい画面への移動が簡単にできる



県内の状況が直感的に把握できる  
トップページ画面

### ③提供する情報内容の充実

#### 河川監視カメラ情報

視覚的に水位状況の変化を把握できる



過去の画像を並べて表示し水位変化が把握できる  
危険度レベルに応じた一覧表示  
水位の危険度レベルに応じて着色をし、危険度が高い観測局から並べて表示することで、危険箇所の把握が容易にできる。



島根県水防情報システムの公開ホームページのURLは下記のとおり変更になりました。

PC版 URL: <https://www.suibou-shimane.jp/pc>  
スマホ版 URL: <https://www.suibou-shimane.jp/s>  
携帯版 URL: <https://www.suibou-shimane.jp/m>

スマホ版



携帯版



# 第1回江の川水系八戸川流域川づくり検討委員会を開催 ～検討委員のみなさんに意見を伺いました～

河川課 企画調査グループ



玉川  
小学生による生き物調査



良好な河川環境である八戸川

## 八戸川について

八戸川流域は、その源を中間山地に発し、山麓の谷を下り、江の川に合流する流域面積 300k m<sup>2</sup>の河川です。水質は良好で、きれいな川にすむカジカガエルや貴重種のオヤニラミが確認されるなど多種多様な生物が生息しています。アユ漁やカヌー利用の他、支川の玉川においては、桜江小学校の生徒による生き物調査も行われています。

## 過去の災害

近年、多くの災害が発生しており、平成25年8月には時間最大雨量 78mm を記録し、主に支川が氾濫し、108 戸の家屋浸水被害が生じました。また、昨年の7月豪雨では、江の川の水位上昇に伴い、下流側において53戸の家屋浸水被害が発生しました。なお現在、昨年7月豪雨災害を受け、河川災害関連事業による堤防の嵩上げが行われています。（概要は平成31年1月号を参照してください）



玉川の氾濫状況

平成25年8月災害



八戸川の浸水被害状況

平成30年7月災害

## 川づくり検討委員会の開催

河川災害関連事業区間の上流において、過去の災害から家屋浸水被害を防ぐために、江の川水系八戸川流域河川整備計画（以下「計画」という）を策定し、今後河川整備を行う予定です。

この計画策定にあたっては、平成31年2月28日に学識経験者（自然環境、土木工学など）や住民

代表者からなる「第1回江の川水系八戸川流域川づくり検討委員会」を開催し、計画に関する意見を伺いました。

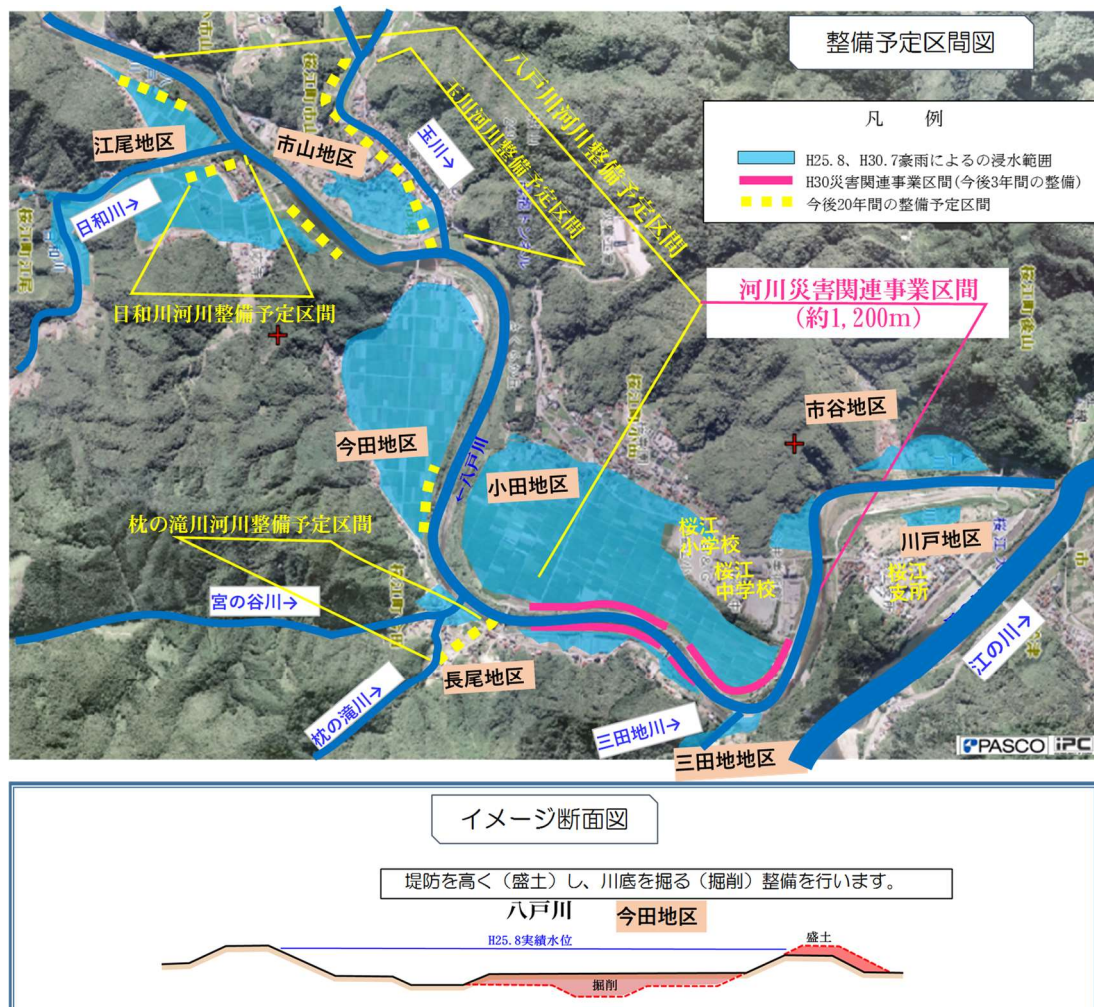
委員会では、計画に関する概要説明の他、現地での計画の説明や河川環境の現状の確認を行いました。また、検討委員の方々からは、施工時の魚への配慮や河川利用の促進など様々な意見がでました。



開催状況



現地視察（八戸川下流を望む）



### 今後について

八戸川の計画については、検討委員の意見を伺うだけでなく、流域の住民の方々や桜江小中学校の生徒の皆さんからの意見も参考とするため、説明会やアンケート調査を実施する予定です。

第1回委員会やアンケート調査等の結果を計画に反映させ、第2回委員会にて、改めて議論していただきます。

※提供資料や意見などの詳細については、以下の河川課HP参照

<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

## 萩・石見空港を利用してオリジナルダムカードをゲットしよう！ 島根県内の 12 ダムで限定ダムカードを配布しています！

河川課 河川開発室

島根県が管理するダムのうち 12 ダム（土木部所管 10 ダム、企業局所管 2 ダム）では、希望する来訪者に「ダムカード」を配布しているところですが、この「ダムカード」とは別に、萩・石見空港利用者に限定した「オリジナルダムカード」の配布を下記のとおり開始しました。

### ◆ 配布場所と入手方法

【配布開始日】 平成31年3月21日（木・祝）

※受付は、平日・土日・祝日ともに午前9時00分～午後5時00分

【配布枚数】 ◎出雲・石見地区のダム（10ダム） 2000枚／1ダム

対象：布部、山佐、三成、三瓶、八戸、第二浜田、大長見、御部、益田川、木都賀

◎隠岐地区のダム（2ダム） 1000枚／1ダム

対象：銚子、美田

【配布対象者】 「萩・石見空港」を利用した方（対象路線：羽田線及び伊丹線）

【配布方法】 県内12ダムの管理所等で、萩・石見空港を利用したことが確認できるもの（例：ご搭乗案内）をご提示いただくと、通常のダムカードに加え、限定オリジナルダムカードをプレゼントします。（簡単なアンケートにご協力いただきます。）

【配布条件】 空港利用日は、ダム訪問前1ヶ月以内のものに限ります。

片道のご利用でも配布可とします。

萩・石見空港利用者であれば、島根県内在住者も対象となります。

### ◆ 豪華特典

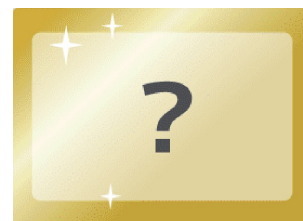
オリジナルダムカードを全12種類集めた方（先着100名）に  
「島根県ダムコンプリートカード」をプレゼントします。

収集したオリジナルダムカードの表面（全て）コピーし、応募者の  
住所・氏名・年齢をご記入の上、次のあて先へ送付してください。

〒690-8501 松江市殿町1番地

島根県庁観光振興課誘客グループ「ダムカード」担当

※応募にかかる費用は応募者のご負担となります。



離島もあり難易度 MAX !!  
コンプリートしたら自慢  
できること間違いナシ!!

また、この他にも、カードを全部集めた人にしか分からない「ある仕掛けが!？」

「ある仕掛け」…とは？ 集めてからの お・た・の・し・み♪

### ◆ その他

詳しくは島根県観光連盟の公式ホームページをご覧ください!!

<https://www.kankou-shimane.com/mag/11335.html>



## 第41回 島根県中学生「水の作文コンクール」作品募集します！

河川課 管理グループ

私たちが生きていくうえで欠かせない「水」の貴重さ、重要性について理解を深めてもらうために、国では8月1日（水の日）から1週間を「水の週間」と定めて様々な行事を全国で行っています。

島根県でも、国土交通省と連携し、次代を担う中学生を対象に「島根県中学生水の作文コンクール」を実施します。

- (1) テーマ 水について考える（題目は自由）  
例えば…「水の大切さ」、「私たちの暮らしと水」など
- (2) 対象 中学生（平成31年度に島根県内の中学校に在学する中学生）
- (3) 原稿枚数 400字詰原稿用紙4枚以内で日本語により表記したもの  
本文の前（原稿用紙枠内）に題名、学校名（ふりがな）、  
学年、氏名（ふりがな）を明記してください。
- (4) 募集締切 **平成31（2019）年5月17日（金）※当日消印有効**
- (5) 送付先 〒690-8501 松江市殿町1番地  
島根県土木部河川課管理グループ  
TEL 0852-22-5499 / FAX 0852-22-5681
- (6) 表彰・副賞等 最優秀賞 1点（表彰状、副賞：図書カード3,000円分）  
優秀賞 3点（表彰状、副賞：図書カード2,000円分）

※入賞作品のうち、特に優秀と認める作品については、国土交通省主催の  
第41回「全日本中学生水の作文コンクール」に推薦します。

私たちが毎日何気に使っている水ですが、飲み水、川や海などのレジャー、水力発電などエネルギーとしての利用もされている一方、洪水や土石流などの災害を引き起こす一面があるなど、様々な顔をもっています。

あなたにとって、水とはどんなものですか？この機会に、私たちの暮らしに深く関わっている水について考えてみませんか!?

島根県中学生「水の作文コンクール」については、河川課ホームページに掲載しています。また、過去の受賞作品も掲載しております。

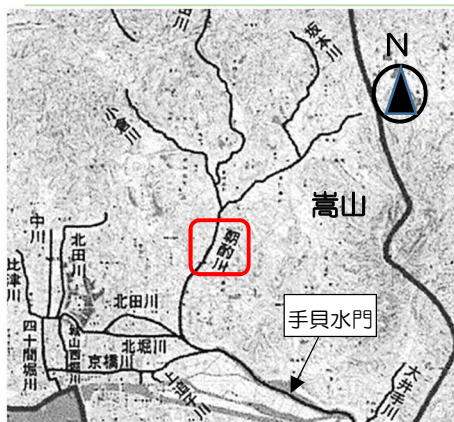
<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/contest/sakubun/dai41kaimizunosakubunnboshuu.html>

4月から1ヵ月間、イオン店舗内の  
「島根県情報コーナー」に募集チラシが置いてあります！

お知らせ



# しまねの河川と海岸～自転車 de ぶらり～vol.6 (お散歩編)



今回紹介するのは！

## 朝酌（あさくみ）川（松江市）

延長は、約9 kmあり、嵩山（だけさん）の北から流れて、いくつかの支川が合流し大橋川の合流点に至る一級河川です。風土記では水草川とされ、中海に臨むところで、熊野大神に朝夕のお粥をここで作ったことが朝酌の名の由来とされています。（H27.3 斐伊川水系穴道湖東域河川整備計画付属資料から引用）

朝酌川には、大型の水門（すいもん）が設置されています。（自転車と比べると大きさが一目瞭然）

中流～下流部にかけては、市街地を緩やかに流れていますが、生物（鳥、魚類や昆虫）が近くで観察できることから、子供達の遊ぶ姿や川沿いを散歩する人も多いです。



写真① 手貝（てがい）水門



写真② 川沿いの憩いスペース

また、年2回は堤防美化の奉仕活動が行われており、筆者も毎年参加しています。

無人茶屋（自動販売機 + 手作り木製ベンチ）サイクリングの時は、良くここで一休み

パラペット護岸はありますが・・・油断禁物

なお、近年の大雨では特に被害は受けていませんが、過去にはたびたび浸水被害\*が発生しています。周辺にはマンションなど住宅等が増加傾向なので、河川整備が進んでいても、増水時には十分注意が必要です。ハザードマップ（災害予測図）で、浸水想定区域や避難場所等を確認しておきましょう。

浸水被害\* S39・40・44・47 H7・18  
（河川整備計画付属資料に朝酌川と記載分）



写真③ 昭和56年6月の洪水時

写真④ 水辺の風景



写真②の対岸から撮影  
かわいい鳥たちが沢山！

写真⑤ 水辺の風景



エサを探し中？かな…

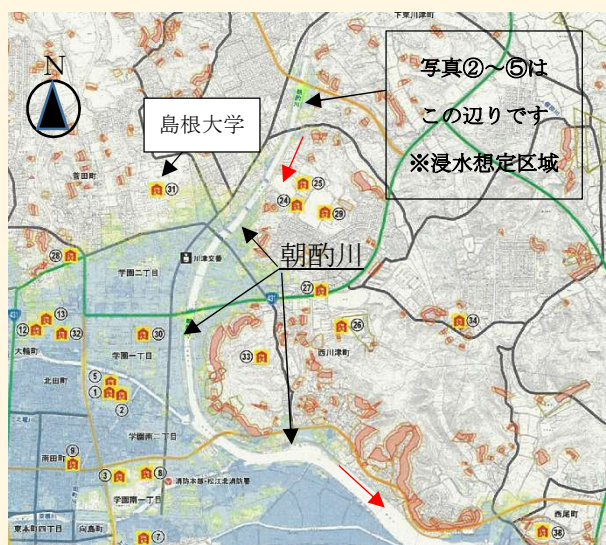
これまでの走行ルートの周辺には、  
素敵な川や美しい海岸がありました。  
普段はさまざまな恩恵を与えてくれますが、ひとたび大雨や暴風となり、被害が生じた場合には、命をも脅かす側面があります。

県内には急流な河川が多く、海岸線も長い  
ため、今後も洪水や高潮などの災害リスクと隣り合わせです。

世の中は便利になりましたが、気象まではコントロールできませんので、  
**緊急時には、先ず「逃げるが先」**となるでしょう。

地域に暮らす人達が川沿いや海岸で佇む姿を眺めつつ、災害について見聞するたびに、  
いろいろな思いが浮かびました。

つたない文章や写真の編集にも感謝しつつ、紹介できたのはわずかでしたが、川や海岸に関心を持っていただけたなら幸いです。



【ハザードマップ 松江市HPから】

1年間ありがとうございました。  
(元河川課Fさんへ 何とか目標達成！)



## 【編集後記】 河川課 企画調査グループ 高橋

平成も残すところ 1 ヶ月あまりとなり、4 月には新元号が発表される予定ですが、平成の 30 年を振り返ると報道でも取り上げられているとおり、災害の多い 30 年であったと改めて感じているところです。

最近では多発する洪水災害ばかりが取り上げられていますが、平成 6 年に全国的な少雨による大渇水被害が発生したことも記憶に残る災害の一つではないかと思います。（当時、渇水による米の生産量が激減し、タイからの輸入米（タイ米）が日本に入ってきた際、ネズミの死骸が米の中にあったなどの報道に衝撃を受けるとともに、日本の品質管理の素晴らしさを改めて認識したことを記憶しています。）

5 月から始まる新元号では、災害が減る年の始まりになることを期待するだけでなく、災害への備えや防災への意識をより高くもってもらうための啓発活動や多様な生物が生息し、親しみやすい川づくりを今後も推進したいと考えています。

次年度も引き続き、河川等に関する耳よりな話題を“河川海岸だより”で情報発信しますので、ご期待ください。

さて、島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下のホームページから申し込みますのでこちらもご利用ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : [kasen@pref.shimane.lg.jp](mailto:kasen@pref.shimane.lg.jp)



河川課 トップページ

<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

河川課 しまねの河川と海岸だより HP

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>



出前講座申し込み HP

<https://www.pref.shimane.lg.jp/seisaku/shimanedemaekouza/>